

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

たけくま まつ
～武隈の松②～



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第 4 号

2023年10月18日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL:0223-25-2302

質問受付中!

えどじだい たびびと 江戸時代の旅人

はいじん はいく つく まつ おぼしよう えど げんざい とうきょう しゅっぱつ とうほく ほくりく
俳人(俳句を作る人)の**松尾芭蕉**は、江戸(現在の東京)を出発し、東北や北陸の

うた めいしよ たび で
歌の名所をめぐる旅に出ました。



いどうきより
移動距離**2400キロ**

たび にっすう
旅の日数**5カ月**



げんろく ばしよう いわぬま たけくま まつ おとす
そして1689(元禄2)年6月20日、芭蕉は岩沼の武隈の松を訪れました。松を見た

さ おも で き のういんほうし
時、目が覚めるような思いだったそうです。そして、松を見ることが出来なかった能因法師や

さいぎょうほうし かんが じぶん とき う
西行法師のことを考えました。自分の時にはしっかりと植えなおされており、松を見ること

かんどう うた よ
ができた感動を歌に詠みました。

さくら まつ ふたき みつき こし
桜より松は二木を三月越し

いみ さくら さ ころ えど で かげつ まつ み
意味：桜の咲いている頃に江戸を出て3カ月、ようやく松を見る
ことができた。

ばしよう だいめ
※芭蕉が見た松は5代目といわれています。



いわぬままきまえ ばしようぞう
JR岩沼駅前の芭蕉像

なが なが たび ようす みち
長い長い旅の様子は『**おくのほそ道**』にまとめられました。